

宮古諸島水納島で確認したチョウ

小浜継雄・砂川博秋

水納島（沖縄県多良間村水納）は、宮古諸島多良間島の北 8km に位置する、面積 2.15km²、最高標高 13.2m の平坦な小島である。筆者らは 2013 年 6 月 8 日に同島でチョウ類の調査を行い、同島の新記録 5 種を含む、4 科 12 種のチョウを確認したので、訪花植物の記録とともに報告する。

本調査は、宮古島市史自然編作成に向けた昆虫相調査の一環として実施したものである。現地調査の便宜をはかりていただいた市史編さん室の方々に感謝申し上げる。

採集・観察データ（新記録種は和名にアステリスク (*) を付した）

アゲハチョウ科 Papilionidae

1. アオスジアゲハ* *Graphium sarpedon nipponum* (Fruhstorfer)

2 exs. (目撃)

訪花植物：ホウライカガミ

2. シロオビアゲハ *Papilio polytes polytes* Linnaeus

4 exs. (目撃)

訪花植物：ホウライカガミ

シロチョウ科 Pieridae

3. ナミエシロチョウ *Appias paulina minato* (Fruhstorfer)

8 exs. (目撃)

訪花植物：ホウライカガミ

4. モンシロチョウ *Pieris rapae crucivora* (Boisduval)

1 ex. (目撃)

5. ウラナミシロチョウ* *Catopsilia pyranthe pyranthe* (Linnaeus)

1 ex. (小浜継雄採集)

訪花植物：ホウライカガミ

シジミチョウ科 Lycaenidae

6. ヤマトシジミ *Zizeeria maha okinawana* (Matsumura)
13 exs. (目撃)
7. タイワンクロボシシジミ *Megisba malaya sikkima* Moore
1 ex. (砂川博秋採集)
8. クロマダラソテツシジミ* *Chilades pandava pandava* (Horsfield)
30 exs.以上 (目撃)
訪花植物：ホウライカガミ
- タテハチョウ科 Nymphalidae
9. ルリタテハ南西諸島亜種* *Kaniska canace ishima* (Fruhstorfer)
1 ex. (目撃)
10. イシガケチョウ* *Cyrestis thyodamas mabella* Fruhstorfer
1 ex. (目撃)
11. リュウキュウアサギマダラ *Ideopsis similis similis* (Linnaeus)
30 exs.以上 (目撃)
訪花植物：ホウライカガミ
12. スジグロカバマダラ *Danaus genutia genutia* (Cramer)
2 exs. (目撃)

今回の調査で水納島から 4 科 12 種のチョウを確認した。そのうちアオスジアゲハ、ウラナミシロチョウ、クロマダラソテツシジミ、イシガケチョウおよびルリタテハの 5 種は同島新記録である。水納島からこれまでに 5 科 18 種のチョウが記録されており（比嘉・長嶺、2013）、上記の新記録 5 種を加えると 5 科 23 種のチョウが同島から記録されたことになる。今回の調査で目立って個体数が多かったのが、リュウキュウアサギマダラとクロマダラソテツシジミの 2 種であった。宮古諸島の各島で個体数が多いスジグロカバマダラはわずか 2 頭確認しただけであった。また、セセチリヨウ科のチョウは確認できなかった。

今回の調査で懸念されたのは、ヤギによる植物の食害であった。同島ではヤギが放し飼いされており、草本を中心にヤギの食害を受けているようであった。たとえば、道路沿いは清掃されたようにきれいで、また林の中の下草も、少なかった（ヤギが食わないと思われるクワズイモは多く見られた）。植物調査班によると、本来あるべき植物が水納島では見られず、これらはヤギの食害によるものらしいとの話であった。今回、チョウの食草について調査し

てないため、どのようなチョウの食草が減少しているのかは調べていない。ヤギによる植生の破壊は、チョウばかりでなくガやハムシなどの植食性の昆虫の繁殖に悪影響を与えると考えられる。今後、植物の生育状況と、チョウなどの植食性の昆虫の発生状況について、ヤギ食害による植生への影響との関連で調査する必要がある。

引用文献

比嘉正一・長嶺邦雄（2013）沖縄県の蝶—記録された島と食草. 沖縄昆虫同好会創立50周年記念誌、沖縄昆虫同好会.

小浜継雄 〒901-2216 宜野湾市佐真下 28

砂川博秋 〒906-0012 宮古島市平良字西里 529-1

